CREATOR

RGBマトリクススイッチャーシステム

取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みの上、製品を使用してください。

安全にご使用いただくために　【 その1 】

本製品は、安全に十分配慮して設計されていますが、あやまった使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告

次の内容を必ずお守りください。もし守らないと火災・感電などにより死亡や重症を負うことがあります。

■　本製品は日本国内専用です。
AC100V、50/60Hｚのアース付き電源をご使用ください。

■　電源コードを傷つけないでください。
電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないで下さい。
また、熱器具に近づけたり加熱したりしないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。
万一、電源コードが破損しましたら、弊社まで修理をご依頼ください。

■　内部に水や異物を入れないでください。
火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すみやかに本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、弊社までご相談ください。

■　雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となることがあります。

注意

次の内容を注意してください。もし守らないとけがをしたり、物的な損害を負ったりすることがあります。

■　安定した場所に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落下によりけがの原因になることがあります。

■　直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因になることがあります。
本製品の上に液体の入ったコップ等を置かないようにしてください。
また、長期間の使用において内部にほこりがたまると、火災や感電の原因となることがあります。

安全にご使用いただくために　【その2】

■　放熱をよくするため、他の機器との間は少し離してください。
ラックなどに入れる場合は本製品とラック面、他の機器との間にすき間をあけてください。
過熱して火災や感電の原因になることがあります。ご使用の際は、本体の周辺温度が10 ℃ ～ 35 ℃、湿度が９０ %以下の結露しない風通しのよい場所にてご使用ください。

■　電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持っておこなってください。
電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずに、プラグの部分を持って抜き差ししてください。コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。

■　濡れた手で電源プラグやコネクタにさわらないでください。
感電の原因になることがあります。

■　移動させるときや、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

■　お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。
電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。

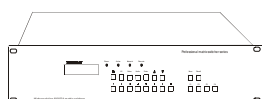
■　分解、改造などをしないでください。
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理は弊社にご依頼ください。

■　保証について
正常な使用状態で本製品に故障や不具合が発生した場合は、弊社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により通信、録画、再生などにおいて利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

RGBマトリクススイッチャーモデル

それぞれの型番に対する、入出力の仕様は下記の通りです。

仕様／型番	映像入力	映像出力	音声入力	音声出力	RS232
RGB0808-Q	8	8	×	×	√
RGB0808-AQ	8	8	8	8	√
RGB1604-Q	16	4	×	×	√
RGB1604-AQ	16	4	16	4	√
RGB1608-Q	16	8	×	×	√
RGB1608-AQ	16	8	16	8	√
RGB1616-Q	16	16	×	×	√
RGB1616-AQ	16	16	16	16	√
RGB2408-Q	24	8	×	×	√
RGB2408-AQ	24	8	24	8	√
RGB2416-Q	24	16	×	×	√
RGB2416-AQ	24	16	24	16	√
RGB2424-Q	24	24	×	×	√
RGB2424-AQ	24	24	24	24	√
RGB3208-Q	32	8	×	×	√
RGB3208-AQ	32	8	32	8	√
RGB3216-Q	32	16	×	×	√
RGB3216-AQ	32	16	32	16	√
RGB3224-Q	32	24	×	×	√
RGB3224-AQ	32	32	32	24	√
RGB3232-Q	32	32	×	×	√
RGB3232-AQ	32	32	32	32	√

商品構成

RGBマトリクススイッチャー本体

RJ45ネットワークケーブル

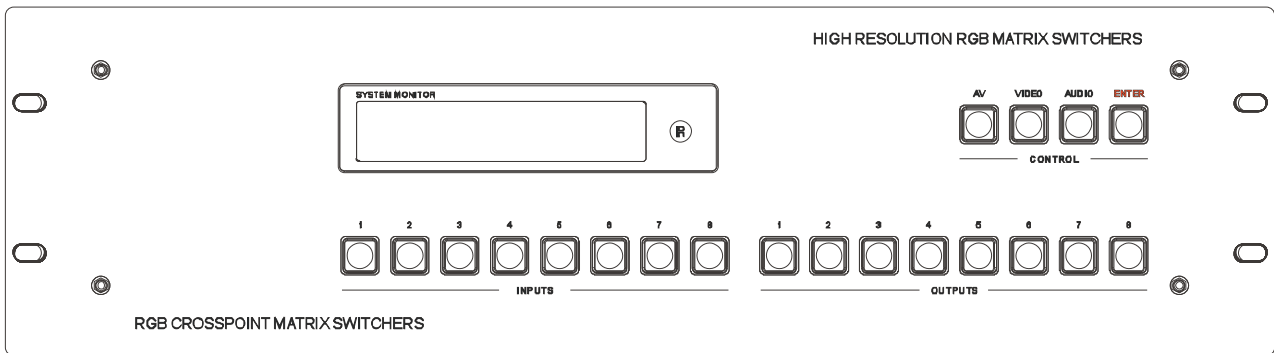
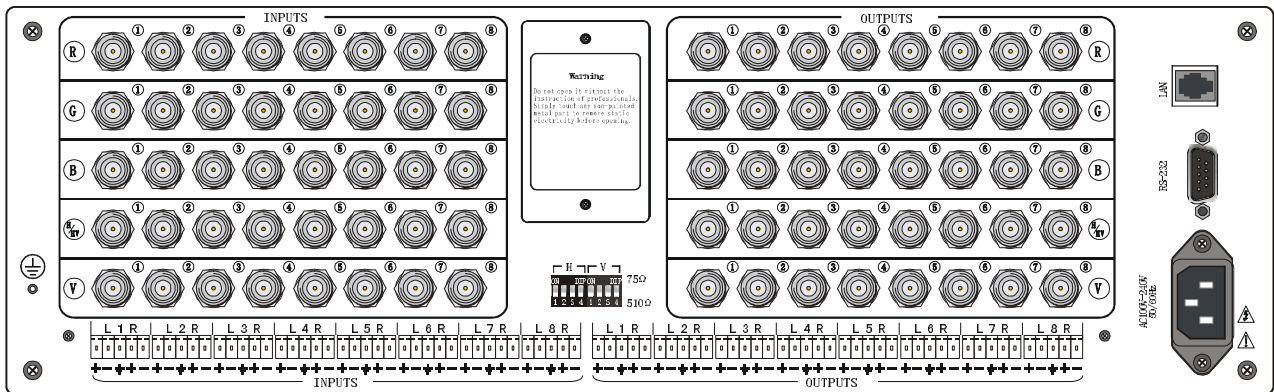
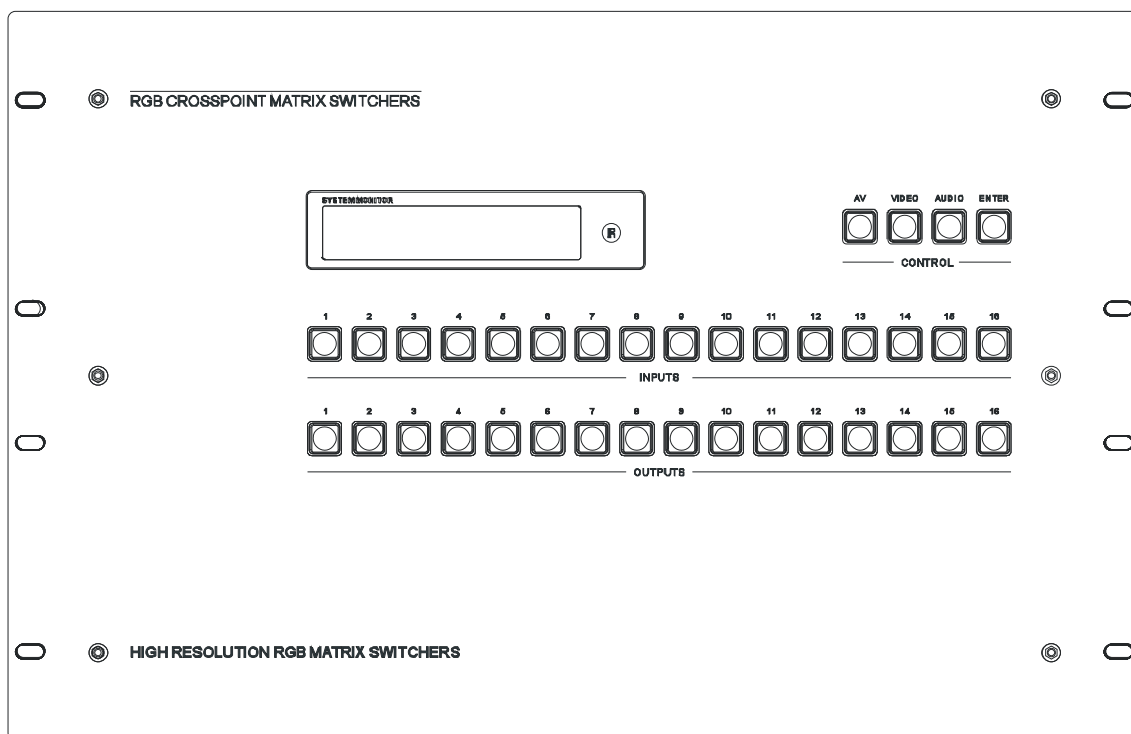
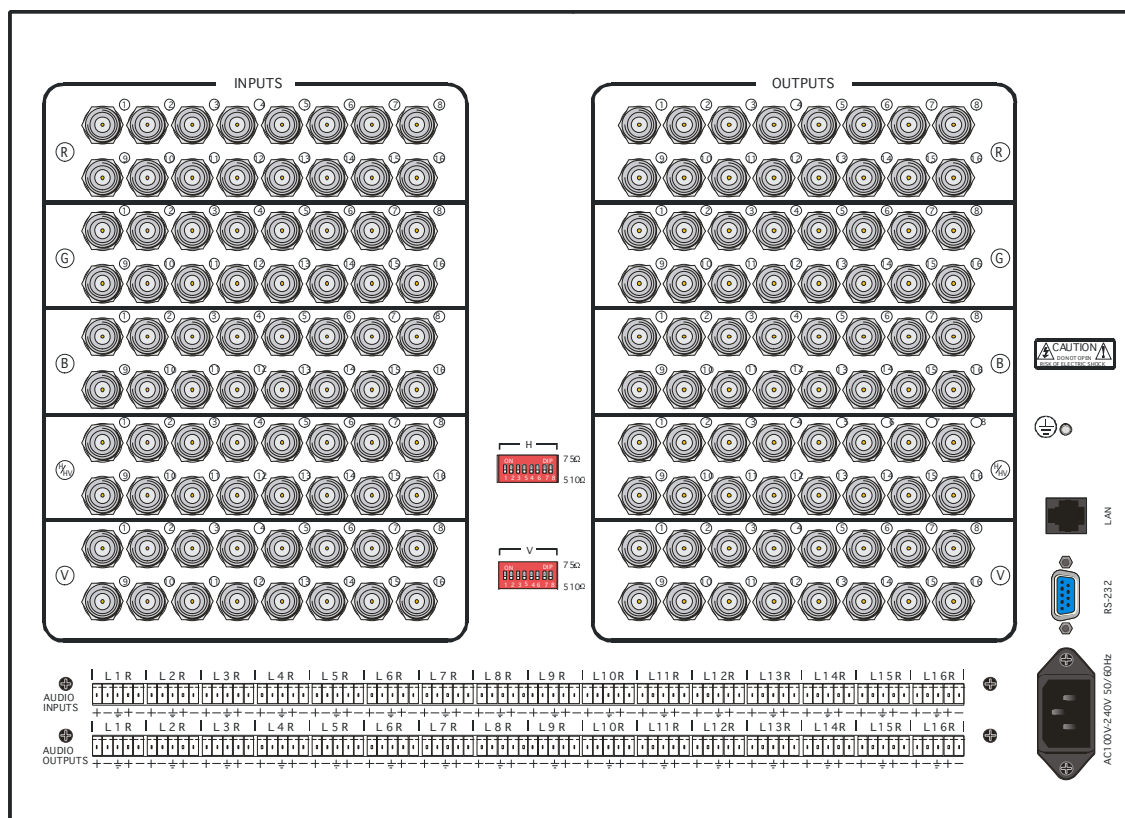
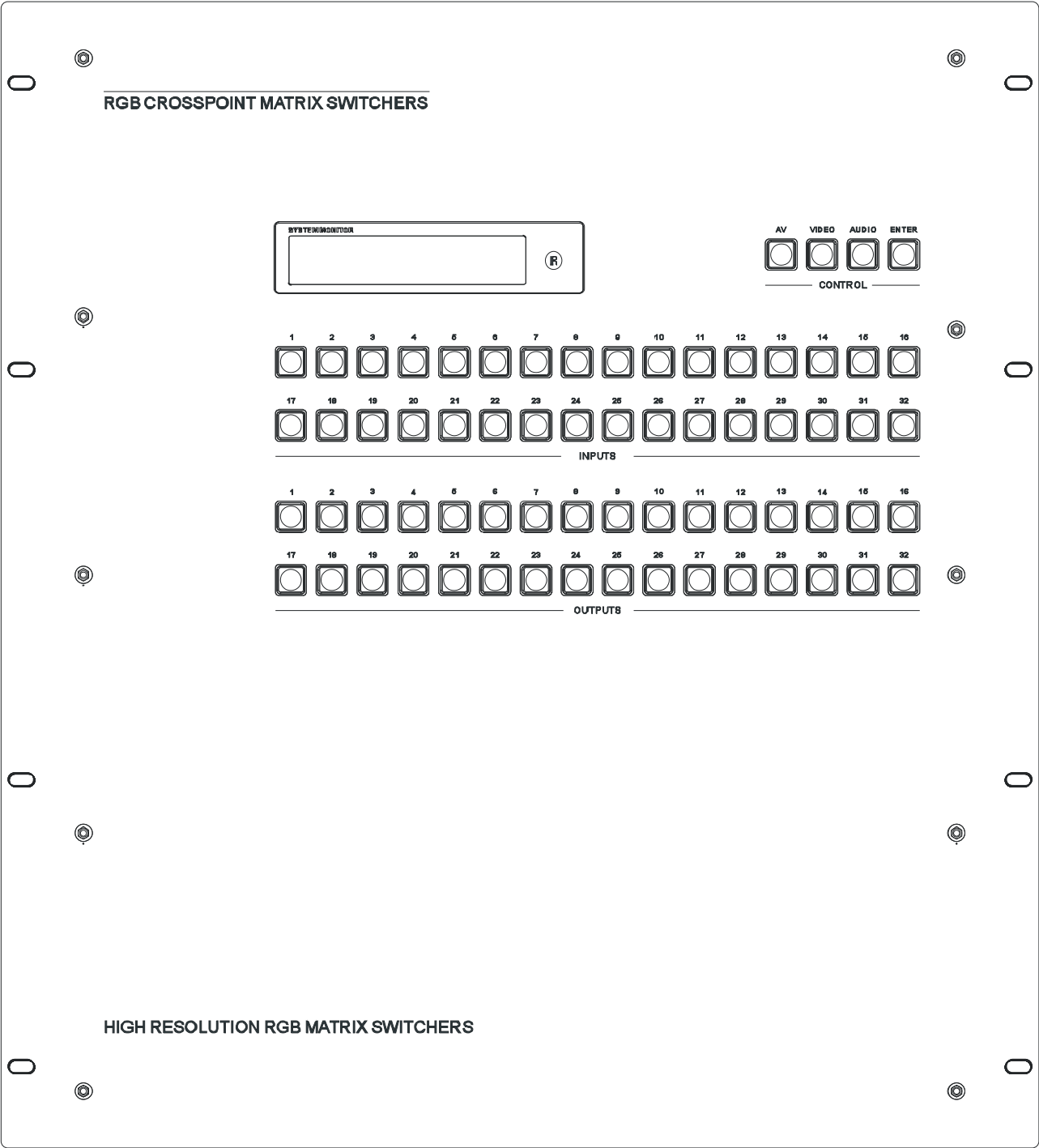
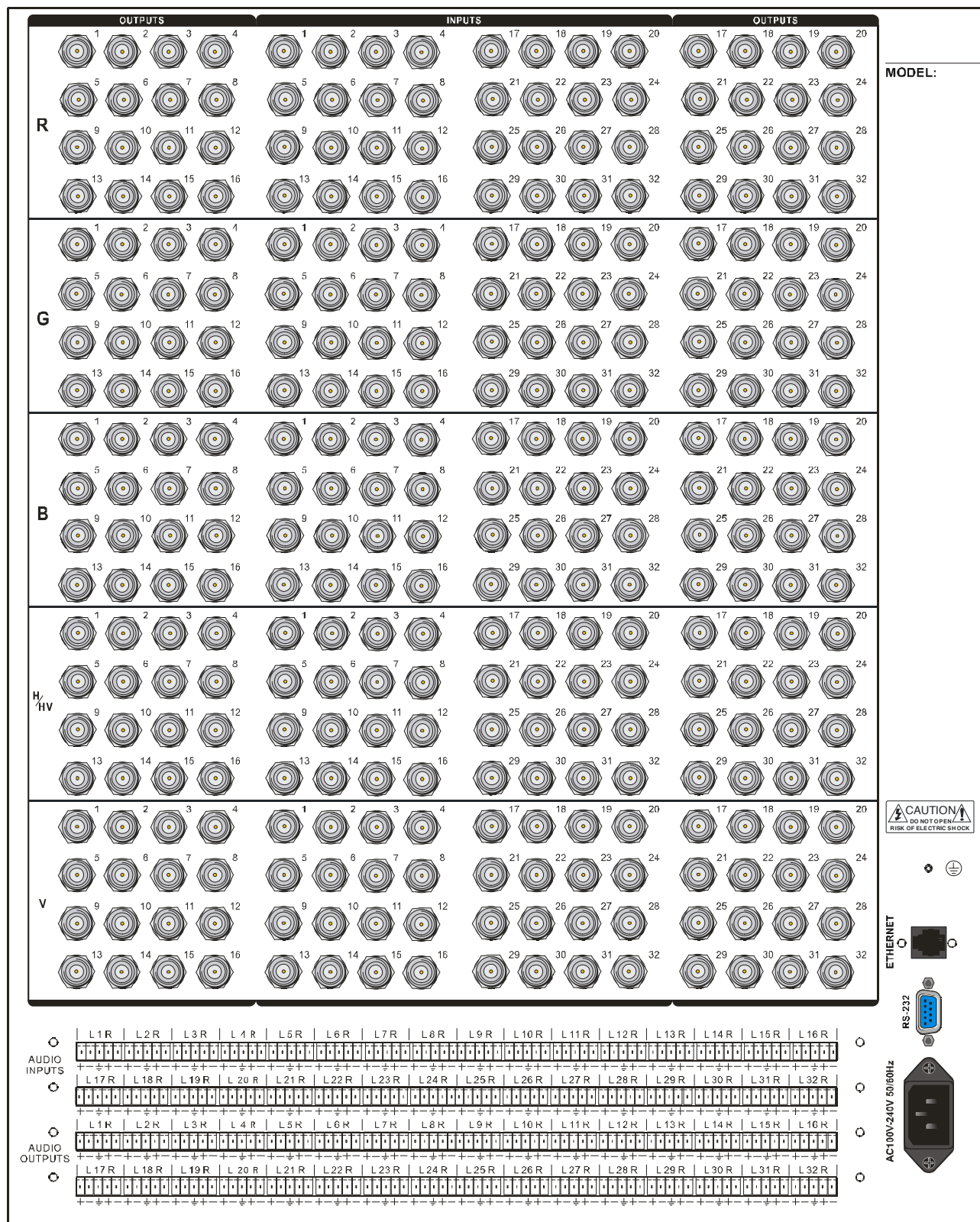
RS-232 ケーブル

ACケーブル

アプリケーションCD　（SWITCHER 2.0）

取扱説明書

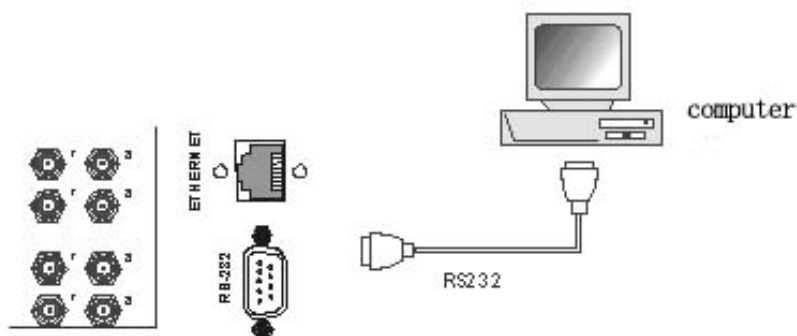
商品外観

RGB0808-AQ　前面パネル

RGB0808-AQ　背面パネル

RGB1616-AQ　前面パネル

RGB1616-AQ　背面パネル

RGB3232-AQ　背面パネル

RS-232制御

フロントパネルの他にも、コンピューターやタッチパネル、RS-232対応PDAなどのホスト装置をスイッチャーに接続することより外部制御が可能です。

RS-232シリアルコントロールケーブルはD-Sub9ピンコネクターに接続します。（下図参照）

ピン	RS-232	機能
1	-----	無使用
2	Tx	送信データ
3	Rx	受信データ
4	-----	無使用
5	Gnd	信号接地
6	-----	無使用
7	-----	無使用
8	-----	無使用
9	-----	無使用

ユーザーは付属しているCDの中のアプリケーションを利用して接続したスイッチャーに対して制御を行うことができます。また、他のユーザー自作制御システムでスイッチャーを制御することも可能です。詳細は後部のプロトコル説明に参照下さい。

コントロールパネル

フロントパネル

■ スイッチング操作

CREATOR MATRIX RGB16X16 V2.0	LCDパネル：動作ステータスを表示するリアルタイムモニター
“0, 1,..., 9”	キーパッド：出入力チャンネルなどの選択
“AV”	AV同期ボタン：映像・同期信号と音声信号を同時に切り替える場合 例１：第3入力の映像と音声を第6出力と第８出力に切り替える 動作：ボタン“入力3,“AV”，“出力6”，“出力８”，“ENTER”の順で押してください
“VIDEO”	ビデオボタン：映像・同期信号のみ切り替える場合 例１：第３入力の映像のみを第10出力に切り替える 動作：ボタン“入力3”，“VIDEO”，“出力10”，“ENTER”の順で押してください
“AUDIO”	オーディオボタン：音声信号のみ切り替える場合 例１：第12入力の音声のみを第６出力に切り替える 動作：ボタン“12”，“AUDIO”，“6”，“ENTER”の順で押してください
“ENTER”	動作の進行確定ボタン

■ その他の操作

出力をオフにする
※注：以下の操作は入力ボタンの灯が点滅していない状態で行ってください

例１：第2出力と第３出力の映像・同期信号と音声信号をオフにする場合
動作：ボタン“AV”，“出力２”，“出力３”，“ENTER”の順で押してください

入出力のステータスを表示
※注：以下の操作は出力ボタンの灯が点滅していない状態で行ってください
ステータスはフロントパネルのLCDに表示します。“Enter”を押すと表示完了になります。

例１：第2入力のステータスをチェック
動作：ボタン“AV”，“入力２”の順で押してください
入力２の同期・映像と音声信号のステータスがLCDに表示される

※注意：赤外線リモコンの操作はまた別途の説明がございます。

赤外線リモコン

“0, 1,..., 9”	キーパッド：出入力チャンネルなどの選択
“AV”	AV同期ボタン：映像・同期信号と音声信号を同時に切り替える場合 例１：第3入力の映像と音声を第6出力に切り替える 動作：ボタン“3”，“AV”，“6”，“END”，“ENTER”の順で押してください
“VIDEO”	ビデオボタン：映像・同期信号のみ切り替える場合 例１：第３入力の映像のみを第10出力に切り替える 動作：ボタン“3”，“VIDEO”，“1”，“0”，“END”，“ENTER”の順で押してください
“AUDIO”	オーディオボタン：音声信号のみ切り替える場合 例１：第12入力の音声のみを第６出力に切り替える 動作：ボタン“1”，“2”，“AUDIO”，“6”，“END”，“ENTER”の順で押してください
“/”	フラッシュボタン：複数の出入力チャンネルにコマンドを出す場合 例１：第１入力の映像と音声を第２、第１３、第６出力に同時切り替える 動作：ボタン“1”，“AV”，“2”，“/”，“1”，“3”，“/”，“6”，“END”，“ENTER” の順で押してください
“END”	コマンドのエンディングボタン
“ENTER”	動作の進行確定ボタン
“ALL”	オールボタン：選択された入力を全ての出力に切り替える場合 例１：第７入力の映像と音声を全ての出力に切り替える 動作：ボタン“7”，“ALL”の順で押してください ※注：このコマンドは“END”と“ENTER”の入力がいりません 例２： 全ての入力信号を同チャンネルの出力に切り替える場合（すなわち、次の ようなステータスに切り替える：1→1, 2→2, 3→3, 4→4...... 16→16） 動作：ボタン“ALL”，“1”の順で押してください 例３：全ての出力をオフにする 動作：ボタン“ALL”，“2”の順で押してください

ボタン	説明
“SAVE”	セーフボタン：現在の動作をプリセットコマンドに保存 例１：現在のマトリクスパターンを、プリセットの“2”のメモリ領域に保存する 動作：ボタン“SAVE”,“2”の順で押してください ※注：１から10まで、10個のプリセットを保存することができます
“RECALL”	リコールボタン：プリセットにしたコマンドをリコール 例１：第２プリセットコマンドをリコールする 動作：ボタン“RECALL”,“2”の順で押してください
“CANCEL”	キャンセルボタン
“STATUS”	ステータス表示ボタン：現在の動作しているステータスを表示 例１：第７出力のステータスを表示させる 動作：ボタン“7”,“STATUS”の順で押してください 例２：全ての出力ステータスを続々的に表示させる 動作：ボタン“STATUS”だけを押してください
“UNDO”	やり直しボタン：切り替える前のステータスに戻ります
“PROGRAM”	グループプログラミングボタン 例１：第１、２、３、４、５チャンネルの出力映像をグループ１に設定 動作：ボタン“１”,“Program”,“Program”,“１”,“2”,“3”,“4”,“5”,“ENTER”の順で押してください 例２：第１入力の映像のみをグループ２出力に切り替える 動作：ボタン“１”,“Program”,“2”の順で押してください 例３：設定されたグループ１をリセットする 動作：ボタン“１”,“Program”,“0”の順で押してください ※注：新しいグループをセットするためには必ず元のグループをリセットしてから行ってください
“←”	Backspace：バックスペース
“THROUGH”	直通出力：入力信号を同じチャンネルの出力に切り替える 例１：第１、２、３入力の映像と音声信号を同じ出力チャンネルに切り替える 動作：ボタン“１”,“/”,“2”,“/”,“3”,“THROUGH”の順で押してください
“CLOSE”	閉じる：出力をオフにする 例１：第１、２出力をオフにする 動作：ボタン“1”,“/”,“2”,“CLOSE”の順で押してください
“LOCK”	ロックボタン：３秒長押ししてフロントパネルのボタンをロックできる ※注：フロントパネルをロックしている状態は、RS232C経由制御できる アンロックするためにはパスワードが必要
“DEMO”	デモボタン：３秒毎に全てのコマンドにデモを行う

RS232C制御とプロトコル

本製品はRS232C端子を用いて外部制御を行うことができます。
付属のRS232Cケーブルはストレートタイプのもので、PCのCOMポートと接続して制御することができます。

通信プロトコルは9600bps、8ビット、noパリティ、1ストップビット、ASCIIフォーマットで制御します。

コマンドは下記の表をご参照ください。

Code (ASCII)	Code (HEX)	Function
/*Type;	2F 2A 54 79 70 65 3B	機器情報をお問合せ
/+XXXXXXXX;	2F 2B X X X X X X X X 3B	フロントパネルのパスワードを設定 （パスワードは8系の数字で設定してください）
/%Lock;	2F 25 4C 6F 63 6B 3B	フロントパネルをロック
/%Unlock;	2F 25 55 6E 6C 6F 63 6B 3B	フロントパネルのロックを解除
/:BellOff;	2F 3A 42 65 6C 6C 4F 66 66 3B	操作音をオフ
/:BellOn;	2F 3A 42 65 6C 6C 4F 6E 3B	操作音をオン
/^Version;	2F 5E 56 65 72 73 69 6F 6E 3B	ソフトバージョンをお問合せ
/~CREATOR20;	2F 7E 43 52 45 41 54 4F 52 32 30 3B	CREATOR2.0コマンドシステムに切り換える
[n_0]All.	[n_0] 41 6C 6C 2E	[n_0]入力の信号を全ての出力チャンネルに切り換える
All#.	41 6C 6C 23 2E	全ての入力信号を同じチャンネルの出力に切り換える
All$.	41 6C 6C 24 2E	全ての出力をオフ
[n_0]#.	[n_0] 23 2E	[n_0]入力の信号を[n_0]出力に切り換える
[n_0]$.	[n_0] 24 2E	[n_0]出力をオフ
[n_0] V [n_1] .	[n_0] 56 [n_1] 2E	[n_0]入力の映像･同期信号のみを[n_1]出力に切り替える
[n_0] * [n_1] %	[n_0] 2A [n_1] 25	
[n_0] V [n_1] , [n_2] , [n_3] .	[n_0] 56 [n_1] 2C [n_2] 2C [n_3] 2E	[n_0]入力の映像信号を[n_1]、[n_2]、[n_3]出力に切り替える
[n_0] A [n_1] .	[n_0] 41 [n_1] 2E	[n_0]入力の音声信号のみを[n]出力に切り替える
[n_0] * [n_1] $	[n_0] 2A [n_1] 24	
[n_0] A [n_1] , [n_2] , [n_3] .	[n_0] 41 [n_1] 2C [n_2] 2C [n_3] 2E	[n_0]入力の音声信号を[n_1]、[n_2]、[n_3]出力に切り替える
[n_0] B [n_1] .	[n_0] 42 [n_1] 2E	[n_0]入力の映像･同期信号と音声信号を同時に[n_1]出力に切り替える
[n_0] * [n_1] !	[n_0] 2A [n_1] 21	
[n_0] B [n_1] , [n_2] , [n_3] .	[n_0] 42 [n_1] 2C [n_2] 2C [n_3] 2E	[n_0]入力の映像と音声を[n_1]、[n_2]、[n_3]出力に切り替える
[n_0] P [n_1] .	[n_0] 50 [n_1] 2E	[n_1]入力の映像信号を[n_0]グループの出力に切り替える
[n_0] PP [n_1] , [n_2] , [n_3] .	[n_0] 50 50 [n_1] 2C [n_2] 2C [n_3] 2E	[n_1]、[n_2]、[n_3]出力を[n_0]グループの中に設定する
S [n_0] .	53 [n_0] 2E	グループ[n_0]の中の出力チャンネルをお問合せ
Status [n_0] .	53 74 61 74 75 73 [n_0] 2E	[n_0]チャンネルの入出力情報をお問合せ
Status.	53 74 61 74 75 73 2E	全チャンネルの入出力情報をお問合せ
Save [n_0] .	53 61 76 65 [n_0] 2E	現在の動作をYプリセットコマンドに保存する （Yは数字0から9までの範囲内です）
Recall [n_0] .	52 65 63 61 6C 6C [n_0] 2E	プリセットにしたコマンドをリコール
Clear [n_0] .	43 6C 65 61 72 [n_0] 2E	プリセットにしたコマンドをクリア

注）[n_a]は出入力チャンネルを代表する記号です。入力されたチャンネルが機器の対応できる範囲外の場合は、不正コマンドとされます。

注）入出チャンネルの代表する記号の中、“[” と “]” は読みやすいためにありますので、実際コマンドのオペレーションには関係がありません。